



骨塩定量検査 の検査予約を承っております

診察・検査予約依頼書の口骨塩定量（身長： cm / 体重： kg）に☑し、身長と体重を記入後、FAXいただければ予約票を返信させていただきます。

検査日時：月～金曜日 9：00～16：00

お好きな時間に8番地域連携センターにお越しください。

検査時間は10分ほどで終わります！

R1検査	<input type="checkbox"/> 脳血流シンチ(安静)	<input type="checkbox"/> ダクトスキャンシンチ	<input type="checkbox"/> 運動負荷心筋シンチ
体重	<input type="checkbox"/> 骨シンチ	<input type="checkbox"/> ガリウムシンチ	<input type="checkbox"/> その他 ()
透視検査	<input type="checkbox"/> 胃透視	<input type="checkbox"/> 注腸 (下剤処方)	<input type="checkbox"/> 当院 <input type="checkbox"/> 紹介元)
内視鏡	※ 下剤処方がある場合、検査の3日前夜に放射線科へ受け取りにお越し下さい。		
超音波検査	<input type="checkbox"/> 上部消化管内視鏡 (麻酔 有 <input type="checkbox"/> 無)	<input type="checkbox"/> 下部消化管内視鏡	
その他	<input type="checkbox"/> 腹部エコー	<input type="checkbox"/> 甲状腺エコー	<input type="checkbox"/> 頸動脈エコー
	<input type="checkbox"/> 血管エコー【部位: / 右・左 / A動脈・V静脈 / 上肢・下肢】		
	<input type="checkbox"/> 尿素呼吸試験	<input type="checkbox"/> 骨塩定量(身長: cm / 体重: kg)	
【来院方法】	<input type="checkbox"/> 自己来院(独歩)	<input type="checkbox"/> 車イス	<input type="checkbox"/> ストレッチャー(救急車・搬送車含む)にて来院予定



地域連携センターだより

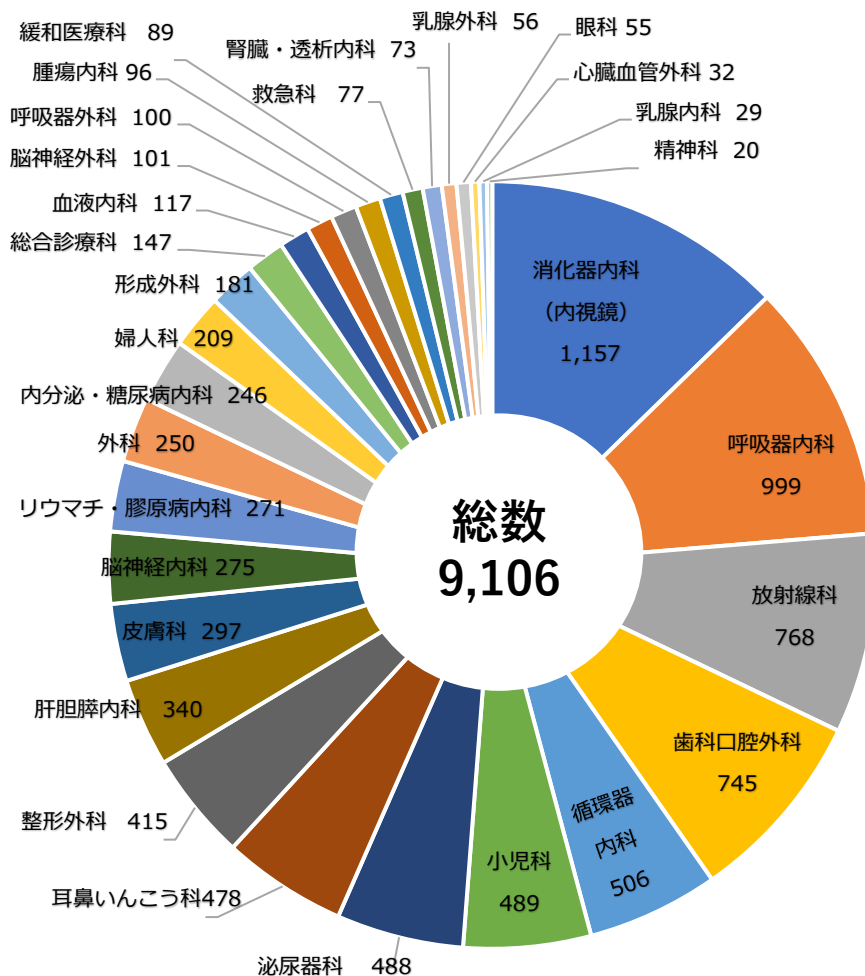
発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター (毎月1回発行)
電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513



ご紹介患者数のお知らせ 2023年4月～9月

たくさんのご紹介をいただき、誠にありがとうございました。
これからもさらにも多くのご紹介をいただけるよう、鋭意努力してまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

診療科	患者数
消化器内科	1,157
呼吸器内科	999
放射線科	768
歯科口腔外科	745
循環器内科	506
小児科	489
泌尿器科	488
耳鼻いんこう科	478
整形外科	415
肝胆膵内科	340
皮膚科	297
脳神経内科	275
リウマチ・膠原病内科	271
外科	250
内分泌・糖尿病内科	246
婦人科	209
形成外科	181
総合診療科	147
血液内科	117
脳神経外科	101
呼吸器外科	100
腫瘍内科	96
緩和医療科	89
救急科	77
腎臓・透析内科	73
乳腺外科	56
眼科	55
心臓血管外科	32
乳腺内科	29
精神科	20
総数	9,106



お知らせ

令和5年度 第4回 和泉市立総合医療センター クリニカルカンファレンスの開催

日時：2023年11月30日 (木) 17：30～18：30

- 『 下肢閉塞性動脈疾患に対するカテーテル治療 』
和泉市立総合医療センター 循環器内科 藤原 良亮
- 『 肺血症の定義と診断 』
和泉市立総合医療センター 麻酔科 部長 稲森 雅幸

参加方法については別紙ご参照ください。

10月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ（休診案内）をご確認いただくか、地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



和泉市立総合医療センター 地域連携センター
 月～金曜日 9：00～19：00まで
 土曜日 9：00～13：00まで
 (但し祝日・年末年始の休日は除く)
 TEL:0725-41-3150 (直通)
 FAX:0725-41-2513 (直通)

地域連携センター
予約受付時間



小児科よりご案内



平素は大変お世話になっております。前回、私が『小児科よりご案内』で挨拶させていただいたのは令和2年5月号でした。早いもので約3年半の月日が流れました。今年は、RSウイルス、アデノウイルス、ヒトメタニューモウイルス、マイコプラズマなど、COVID-19の影に隠れていた感染症がこぞとばかりに活発になっています。令和2年5月といえば、COVID-19による第一回の緊急事態宣言が出された時期で、当科も受診抑制という形で大きな影響を受けました。現在は、外来患者数も完全にCOVID-19前に戻っており、本当に隔世の感があります。まだまだ油断はできませんが、COVID-19は5類感染症扱いとなり、子ども達の日常生活が戻ってきたなあと実感しています。

この3年間、当科も地域連携のため、和泉市の子ども達のためにスタッフが丸となり試行錯誤しました。その一つがオンライン診療で、病院の前で車で待機していただいて、電話で問診して検査を実施するシステムです。多くの病院で受け入れを断られたという患者さま

の声もありましたが、このシステムが役に立ちました。令和4年7月頃のオミクロン株の流行時期は、検査キットの数の制限のためCOVID-19の検査ができないという、ご紹介も多数受け入れました。インフルエンザとの同時流行の時期も同時抗原検査を駆使して乗り切りました。親子で来院するケースも多く、成人の発熱外来とも連動しながら、この3年間病院が一丸となれたと自負しております。この場をかりて当院の関係者の方々にもお礼を申し上げさせていただきます。オンライン診療の体制はさらに進歩し、最近QRコードを用いて、患者さまのスマホで問診をいれもらうWeb問診システムを導入し診察がより効率的に行えるようになりました。現在もWeb問診システムを併用し、待ち合いで発熱の患者さま同士が接触する機会の減少に努めています。これからも形を変えて訪れる変化に“ピンチはチャンスになる”と言い聞かせながら立ち向かっていきたいと考えています。さらに病診連携を発展させながら、和泉市の子どもとその家族のために尽力していきます。これからもよろしく願いいたします。



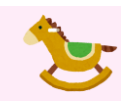
◆ 当科の診療体制:

常勤医師8名、非常勤医師2名(神経外来と発達外来)が午前中は一般外来、午後は専門外来を担当しています。午後の専門外来はアレルギー疾患(喘息、食物アレルギー、アレルギー性鼻炎の舌下免疫療法など)、内分泌疾患(小児肥満症、低身長など)、代謝疾患、神経疾患、腎臓疾患、発達障害、循環器疾患、夜尿、後期健診、予防接種と小児科疾患全般に幅広く対応できる体制となっています。

緊急入院目的の紹介については診療時間内(8:45~17:15)にご紹介ください。

◆ 起立性調節障害などの診療について:

2学期が始まり、子ども達も疲れがたまって体調を崩しやすい時期です。当科には心身症の専門外来はありませんが、水銀レス自動血圧計(起立くん®)を用いて起立性調節障害の検査を行うことができます。地域連携センターを通してご紹介ください。初診時は問診などに時間を要しますので、予約の調整が必要になることをご了承ください。



令和5年9月 小児科 坂東賢二

◆ 2022年度 入院診療実績

入院総数	紹介入院数	紹介%
329人	141人	43%

入院患者 主な疾患(人)			
肺炎・気管支炎	38 (12%)	喘息	47 (14%)
RSウイルス	51 (16%)	川崎病	18 (5.5%)
ヒトメタニューモウイルス	23 (7%)	食物負荷試験	5 (1.5%)
胃腸炎	13 (4%)	けいれん重積	19 (5.8%)
マイコプラズマ	0 (0%)	インフルエンザ	0 (0%)

◆ 和泉市内の小・中学校から講演依頼を承っています

和泉市内の小・中学校より依頼をいただき、『食物アレルギー、アナフィラキシーへの対応』、『肥満の児童との関わり方のコツ』、『起立性調節障害について』の講演会を、2022年度は計8校、2023年は4月~9月で計7校、小・中学校に訪問し開催いたしました。コロナ禍で訪問が難しい場合はZOOMを使ってオンラインで行いました。参加していただいた教職員の方からは、『忘れていたことを思い出せてよかった。』、『医療に携わる方から詳しい話が聞けてよかった。』等のお声をいただきました。教育現場と医療がより一層、連携が図れるよう今後も尽力していきます。

